



報道関係者各位

2018年4月10日

Appier, Inc.

**Appier、LINE とアイソンの連携により、
精度の高い LINE フォロワーのインサイト生成を AI で可能に
～LINE ビジネスコネク​​ト導入企業にリアルタイムのクロスプラットフォームマーケティング機能を提供～**

AI（人工知能）テクノロジー企業の Appier（エイピア、以下 Appier、本社：台湾、共同創業者/CEO：チハン・ユー）は、本日、AI 搭載のデータインテリジェンスプラットフォーム「アイソン」がアジア最大のメッセージングプラットフォームの一つである LINE 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）の「LINE ビジネスコネク​​ト」（LINE アカウントの各種機能を企業向けに API で提供し、活用できる法人向けサービス）との連携を完了したと発表しました。この連携により、LINE ビジネスコネク​​トを使用する企業は、AI で分析した自社のフォロワーに関するインサイトを入手することができ、フォロワー一人ひとりに適切なメッセージを配信することが可能になります。

アイソンの AI エンジン​​は LINE ユーザーの ID と、20 億を超えるユーザーやデバイスから構成される Appier の CrossX データベースを照合します。この照合結果から、フォロワーの関心キーワードや趣味嗜好を参照し、セグメントすることが出来ます。さらにアイソンはオーディエンス予測機能を提供します。LINE ビジネスコネク​​トを導入している企業は、こうしてセグメント化された、高いコンバージョンが予想されるターゲットオーディエンスに対して最適化したメッセージを配信することが可能となります。

両社の連携によって実現したこの機能は、リアルタイムのクロスプラットフォームマーケティングの可能性を広げるものとなります。フォロワーが EC サイトに訪問したが、商品を購入しなかった場合、ユーザー企業はこのフォロワーに対して LINE 上で購入を促すクーポンなどを提示することができます。

LINE 台湾のプラットフォーム​​ビジネスヘッドであるベニー・ウー氏は「Appier のアイソンと LINE ビジネスプラットフォームが連携したことで、LINE ビジネスコネク​​トのユーザーは利用傾向と顧客の行動特性に関するインサイトを利用できるようになります。当社のユーザーは、ここから、より詳細なデータ分析、情報フィルタリング、効果的なデータの応用が可能となります。こうした環境は、LINE のミッションであるユーザーとビジネスとサービスの「距離を縮める」ことと合致しています。われわれは特にクロスプラットフォームマーケティング環境の実現に向けた潜在力に期待を膨らませています」と述べています。

Appier のプロダクトマネジメント担当ヴァイスプレジデントのマジック・ツーンは「LINE は、アジア地域の数億に上る消費者が利用している最も人気のあるメッセージングプラットフォームの一つです。LINE ユーザーは活発なコミュニティを形成しており、マーケターにとって魅力的です。LINE は、アイソンの AI プレインの深層学習と機械学習技術を活用し、広告主のニーズとサービスのギャップを埋める事ができるでしょう」と述べています。

日本、台湾、タイ、インドネシアのアイソンと LINE ビジネスコネクットのユーザー企業は、2018 年 6 月以降、この連携プラットフォームを利用することができます。

Appier について

Appier は、AI(人工知能)テクノロジー企業として、企業や組織の事業課題を解決するための AI プラットフォームを提供しています。詳細は <http://www.appier.com/jp/>をご覧ください。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

Appier 広報事務局（共同ビル内）：藤本、宇高、八木

Tel : 03-3571-5258 Fax : 03-3574-0316

E-mail : appier-pr@kyodo-pr.co.jp